



宇部市新庁舎建設 ワークショップニュース 第1号＜概要版＞



平成29年5月20日(土)実施

発行：都市整備部まちなか再生推進課本庁舎建設係

〒755-8601 宇部市常盤町一丁目7番1号 電話0836-34-8200／ファックス0836-22-6050

宇部市では平成30年度の設計完了を目指して、新市庁舎の設計者を選定しました。基本設計ではこれまでの基本計画への市民参加に加えて、市民活動支援機能とまちづくり拠点機能の具体化をテーマに、全4回の市民ワークショップを実施することになっています。今年度第1回目となる今回は、新天町アーケード内で行いました。42名の市民と6名の職員が8つのグループに分かれ、熱心な議論が行われました。

このワークショップでは、できるだけ多くの市民の方に新市庁舎の計画内容を知って頂くため、多くの皆さんの目に触れる工夫をしていきたいと考えています。ワークショップの場に出会ったら気軽に参加してください。傍聴だけでもかまいません。大歓迎です。多くの人の意見でかけがえのない市庁舎を実現しましょう。



ワークショップの流れ



■第9回

日時：平成29年5月20日(土)14:00～

場所：ハミングロード新天町アーケード内

■第10回

日時：平成29年7月15日(土)13:30～

場所：宇部市総合福祉会館

■第11回

日時：平成29年8月5日(土)13:30～

場所：ときわ湖水ホール

■第12回

日時：平成29年9月23日(土)13:30～

場所：宇部市立図書館



第9回プログラム



1. はじめに
2. ワークショップの流れを理解する
3. プロポーザル時点の計画提案を説明
4. まずは自己紹介
5. 市民活動団体からの活動紹介と新市庁舎に対する思い
6. 『市民活動支援スペースや広場でこんなことができたらいいな！』
7. まとめ

久保田市長からの挨拶

本庁舎建設は我がまちにとって歴史的な大きなプロジェクトです。行政や議会、防災拠点としてのみの建物ではなく、まちの顔となる拠点機能、多様化して活発に進められている市民活動の支援機能を市役所に一緒に盛り込めないか、これがこれまでの議論の中で多くの方から出されてきたところです。今日は思いっきり議論していただき、皆さんの思いが形になるように進めていけたらと思っています。



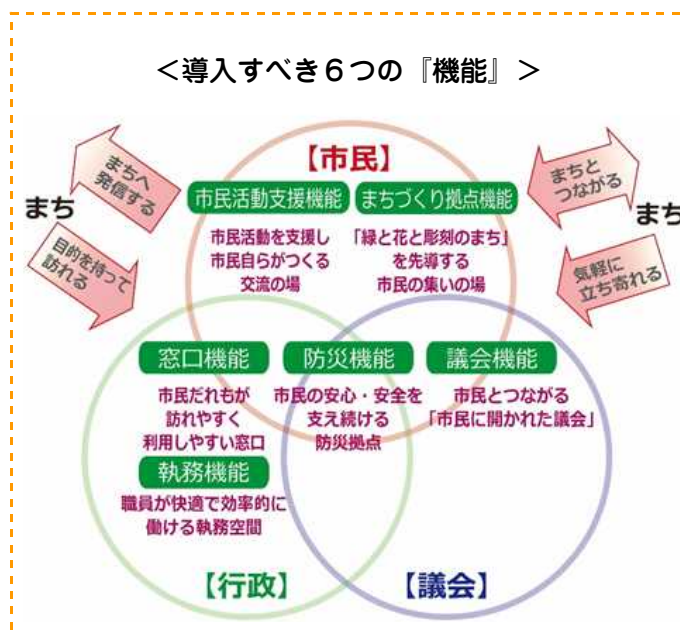
基本計画とプロポーザル時点の計画提案を説明しました

宇部市新庁舎の基本的な考え方について事務局、設計者から説明しました

市の本庁舎は昭和33年に建設され59年が経過しており、耐震性能の不足を始め、様々な問題を抱えているため、早急な対応が必要な状況となっています。そのため、市議会からは報告書を、市民委員会からは提言書を提出していただき、平成27年3月に基本構想を策定しました。基本構想では本庁舎建替えの必要性や新庁舎の建設場所、基本理念、コンセプトなど、新庁舎の基本的な考え方をとりまとめました。

平成28年8月策定の基本計画では、【新庁舎の役割～求めるべき姿～】の方針を示し、実現化していくために、「備えるべき性能」と右図に示す「導入すべき6つの機能」を整理しました。

今回のワークショップでは基本計画で示された「市民活動支援機能」と「まちづくり拠点機能」について、具体的な中たちや利用方法などのアイデアを出し合い、新庁舎の魅力を高めていくことを目的としています。



● 市民活動支援機能

～市民活動を支援し、市民自らがつくる交流の場～

- ・「情報発信コーナー」を設置する。
- ・情報発信コーナーは、図書館の本の予約・返却などによる市民利用の促進、「うべ元気ブランド」や特産物の紹介、観光案内情報の提供などによるシティセールスの推進に寄与する活用を検討する。
- ・「多目的ホール」を設置する。
- ・情報発信コーナーや多目的ホールを市民にも開放し、市民活動・交流を支援する場とする。

● まちづくり拠点機能

～「緑と花と彫刻のまち」を先導する、市民の集いの場～

- ・「庁舎前広場」を整備し、市街地中心部におけるオアシスづくりに伴う回遊性の向上を図る。
- ・「緑と花と彫刻のまち」のイメージを先導する公園のような場所とする。
- ・庁舎前広場は「まちなかイベント広場」の1つである真締川公園との一体的利用により、イベント広場としての活用推進を図る。
- ・「バス待合スペース」の設置等によりバスの利便性を高める。
- ・「飲食・休憩スペース」を設置し、市民が気軽に立ち寄れる空間とする。

宇部市の市民活動団体を紹介

宇部市内にある多様な市民活動団体について紹介しました

1. NPO法人うべネットワーク

- ・宇部市民活動センター「青空」の運営、管理
- ・その他の企画・運営活動、受託事業

2. NPO法人子ども劇場山口県センター

- ・子どもの芸術体験活動
- ・「チャイルドラインやまぐち」の運営

3. 子育て応援グループなないろキッズ

- ・子どもやお母さん達の居場所づくり
- ・ひろばの運営

4. ふるさとコンパニオンの会

- ・地域の文化・歴史・経済に精通した人材育成
- ・宇部市内の都市景観や史跡などのガイド

5. NPO法人ふらっとコミュニティひだまり

- ・精神障がい者の居場所づくり、就労支援
- ・ネットワーク構築の場づくり

6. NPO法人ときわ

- ・障がい者が自立した生活を営み、地域で安心して普通に暮らせるような地域社会づくりを目指す。
- ・就労継続支援B型の活動

7. NPOうべ環境コミュニティ

- ・環境学習館の運営（指定管理）
- ・環境教育
- ・他の環境関連団体との連携
- ・環境関連の外部資金獲得努力

いくつかの団体の話を聞き、活動をしている人同士が横につながればもっと面白いことが起きるのではないかと感じた。



市民ワークショップ支援グループ 内田文雄氏
(山口大学教授)

『市民活動支援スペースや広場でこんなことができたらいナ!』

市民活動支援スペースや広場を有効に使うアイデアを出し合っていました []はグループ番号

広場の活用

◇定期的なフリーマーケット／マルシェができる空間(広場)+店舗、農産物直売所 [3]

◇イベント広場で定期的にフリーマーケットや飲食系のイベントなどを行う。[7]

◇ストリート系のスポーツを披露できる場所 [6]

◇子育て世代、熱望!!巨大遊具(雨天可)!! [8]

市民活動の応援

◇チャレンジコーナー(彫刻、ミュージシャン、工房、新商品販売など) [2]

◇若者の起業、創業の支援のための情報提供などの法人又は支援団体に入って頂く空間を造り、イベント広場にて限定でコンテナ等を利用し、起業してもらい感触を確かめながら、上手くいったら外に出て起業、創業をしようというシステム。[7]

◇家でできない作業ができる”アトリエ”。市民で彫刻を時間をかけてつくる、家具作り等。[5]

◇市民活動の案内板 [8]

◇NPO等のテナントコーナー [2]

◇打ち合わせ空間 [5]

芸術に触れる場

◇展示…美術館、渡辺翁の資料、宇部市にまつわる歴史もの、宇部市のPR [1]

◇美術館、芸術関係 [2]

1 グループ



2 グループ



3 グループ



4 グループ



5 グループ



6 グループ



7 グループ



8 グループ

「緑と花と彫刻のまち」

◇植栽や花を育てるグループ…場
ex) 学生、市民、花が好きな人々 [1]

◇庁舎を木造建築にし、「花と緑と木と水辺のある街」とするイベントを企画する。
◇日常のいいの場にする。
◇水上イルミネーション、水上花火等、他市にはないオンリーワンの企画をする。
◇イベント時以外の日常にもファーマーズマーケット等のマルシェ、オープンカフェ等を開催する。
◇宇部まつりはもちろん、新川まつりもこの広場を拠点にする。[4]

人が集まる場所

◇すべての人が集まる場。福祉体験コーナー
ex) 保健課に行くなら車椅子に乗っていく、真っ暗な中で書類を出す等。[1]

◇図書館、ギャラリー。若者も集まれるようにスターバックスやツタヤの運営をして欲しい(民間の運営にお願いする)。[4]

◇FMきららの放送局、オープンスペース、保険相談コーナー、一時保育所溜まり場 [7]

◇溜まり場 [5]

◇有名なカフェ(スタバ)やレンタルレストラン [6]

◇全体的におしゃれに統一させたスペース [6]

◇食堂、カフェ+情報公開、展示コーナー。安くても美味しい! 山口大学のような…100円定食!! [3]

◇共用スペース。災害時の避難場所として共用スペースや屋上を利用する。[4]

◇山口大学のサテライトキャンパス。中心に学生を呼び込む! 市役所-大学 [3]

◇医学部との合同イベント(講演会) [8]

各グループの発表から

＜1グループ＞ 全ての人が集まる、何回も市民が足を運べるような市役所に

- ・108億円を使うなら2億儲けるような市庁舎になったら良いなという夢で語った。
- ・真綿川全部を花で飾ることを考えると、植栽や花を育てるグループが必要。そこにはいろんな人が集まったら良い。
- ・市役所に体験コーナーを設け、視覚障がいの方が案内するスペースや車イスに乗る、真っ暗なスペースで書類を書くなどがあったら面白い。

＜3グループ＞ 山口大学のサテライトキャンパスなど、宇部の中心に学生を呼び込む工夫を

- ・食が一番、市民の食いつきが良いので、広場を定期的なフリーマーケットやマルシェができる空間にしたい。またメインストリートに面した店舗や農産物の直売所を機能として加えてはどうか。
- ・情報や展示コーナーを食堂やカフェに付随させ、市民が情報や展示空間に気軽に触れられるようにする。
- ・山口大学の100円定食のように、安くても美味しい食堂にしていきたい。

＜5グループ＞ 広場に屋根を架けるなどして、気軽に行ける無料の溜まり場を

- ・音が出る作業や高級機材が必要な作業など、家でできない作業ができるアトリエが欲しい。できたら市民で彫刻をつくっていけるようなものがあれば良い。
- ・散歩しながら人が集まっていたら気軽に行けるような溜まり場のようなものを無料でつくりたい。
- ・普段、地域の人達が公民館などでしている「茶話会」ができると良い。
- ・多世代、同世代の交流ができる場。

＜7グループ＞ 若者の起業、創業支援の拠点に

- ・イベント広場では、定期的にフリーマーケットや飲食系のイベントなどを行う。ターゲットを絞って、それぞれ毎回違うような人々に来てもらえたら良い。
- ・若者の起業、創業支援のための情報提供者に入ってもらい、広場に限定的にコンテナ等を配し、そこで若者に起業してもらい、感触を確かめながら、上手くいったら市内外に出て起業、創業をしてもらうようなシステムができれば良い。



設計者からのコメント

ユニークなアイデアがたくさん出てびっくりしました。山口大学サテライトキャンパスは非常に面白いアイデアで、花に関する意見も多かったと思います。一方で市民活動の場所や彫刻を見せる美術館的な空間の意見があるなど、宇部らしいアイデアを頂けたと感じています。

かなりバラエティに富んだアイデアが多く、我々としては、この後どうしていこうかという嬉しい悲鳴とともに、チャレンジする意欲をかきたてられた一日でした。これからはワークショップが続きますので、引き続きご参加よろしくお願いします。

＜2グループ＞ 短期間の場所貸しをして、チャレンジしてもらうコーナーも

- ・NPOについて、学生をはじめ知らない方が多い。また情報が点在してまとまっていない。いろんな情報が身近になるようなスペースが欲しい。
- ・NPO団体は金銭的余裕がないようなので市役所にNPO団体の居場所を設ける。
- ・宇部市には川崎美術館、ときわミュージアムがあるが、市庁舎に美術館を作り、芸術に触れられる場所があると良い。

＜4グループ＞ 「緑と花と彫刻のまち」に合う工法を考えたい

- ・他にはないオンリーワンのイベントとして水上イルミネーション、水上花火。
- ・日常的な交流の場としてファーマーズマーケット、マルシェ、オープンカフェを市民が運営していく。
- ・宇部まつり、新川まつりの拠点にする。水辺の講習。
- ・災害時の避難場所として、共用スペースや屋上を利用することを第一に考えて欲しい。

＜6グループ＞ 人が集まるおしゃれな空間をつくるのが第一

- ・若者からお年寄りまでが共通認識している有名なカフェ、例えばスタバなどを入れてもらえば、山口県宇部市で一番有名なところができるのではないかな。
- ・プロの料理人にお店を出してもらえそうなレンタルレストラン。
- ・人が来るためにはおしゃれな空間であることが第一。流行のヨガ、ミズベリングを踏まえたカヤックなど、水辺を使った活動を重点的にやったら良いのでは。

＜8グループ＞ 雨の日でも子どもが遊べる空間を設けてにぎわいをつくる

- ・宇部市内に子どもを遊ばせる場所があまりないので、雨の日でも子どもが遊べる場所を庁舎内に設けてにぎわいをつくる。
- ・医学部から先生を呼び講演会を開く。お年寄りの方が喜ぶのではないかな。
- ・NPOについて、宇部市民があまり知らない状況があるので、案内板のようなものを作ってもっと広く発信できるような場所を作れば良い。



ファシリテーターからのコメント

商店街のアーケードの中での開催というユニークなワークショップを初めて体験しました。部屋の中で考えるのとは一味違う臨場感に溢れたアイデアがたくさん出たように思います。次はこのアイデアを実現に向けて絞り込んでいくことになります。

幅広い年代の方と話すことはそれだけでも楽しい時間です。できるだけ多様な意見を集めながらわくわくできる施設づくりを進めていきたいと思いますので、是非、お知り合いの方に声掛けして頂くようよろしくお願いします。

